

最新のバリアフリー車両(APEX5200形)も登場!<sup>(注)</sup>

令和6年1月10日

## 小学生が路面電車でバリアフリーを学ぶ

～当事者からのお話や車椅子体験によるバリアフリー教室を開催します～

中国運輸局では、共生社会実現のため、学生や社会人を対象としたバリアフリー教室を開催し、「障害の社会モデル」※1「心のバリアフリー」※2の啓発に取り組んでいます。

今回、広島電鉄株式会社、当局のバリアフリープロモーターである徳政 宏一氏にご協力いただき、広島市立竹屋小学校の生徒を対象に、「**障害の社会モデル**」や「**心のバリアフリー**」に**対する理解促進、公共交通の利用促進**を目的としたバリアフリー教室を開催します。

1. 日 時:令和6年1月16日(火)9:30~12:00
2. 場 所:広島電鉄株式会社本社ビル・千田車庫 (広島県広島市中区東千田町二丁目9番29号)
3. 参加者:広島市立竹屋小学校 5年生 54名
4. 内 容:
  - (1)バリアフリープロモーターによる講話  
講師:徳政 宏一氏(NPO 法人日本頸髄損傷 LifeNet 理事長)
  - (2)バリアフリークイズ
  - (3)路面電車の乗り方教室、高齢者・車椅子体験(超低床車両で実施)
  - (4)車庫見学(その他の車両見学等)



講師による講話



高齢者体験



車椅子体験

※写真はイメージです。

5. 主 催:国土交通省 中国運輸局  
協 力:広島市立竹屋小学校 広島電鉄株式会社 バリアフリープロモーター徳政 宏一氏
6. その他(現地取材時のお願い)  
現地取材を希望される場合は、1月15日(月)15時までに下記連絡先へご連絡ください。

※1「障害の社会モデル」とは、「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方です。

※2「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。バリアフリー教室は令和2年のバリアフリー法改正に伴い「教育啓発特定事業」に位置付けられ、取組を強化しています。



バリアフリー教室で使用予定の超低床車両  
[広島電鉄 5200形 グリーンムーバーエイペックス]  
(注)使用車両は変更になる場合があります。

&lt;お問い合わせ先&gt;

中国運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課

担当 : 櫻井(さくらい)・舟木(ふなき)

TEL:082-228-3499[直通]

e-mail:cgt-sho-gyo@ki.mlit.go.jp